

第22回関西障がい学生支援担当者懇談会（2月27日開催）

【アンケート集計結果】

1～2はKSSK開催前の申込時にアンケートを実施（出席人数58名）、4～8はKSSK開催後にアンケートを実施（回答人数39名※回収率68%）

1-1 所属大学

大学コンソーシアム京都加盟大学

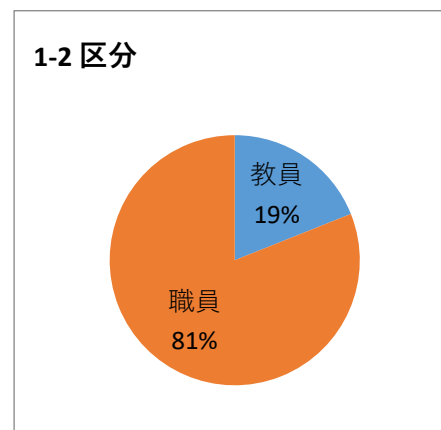
大学名	人数
大谷大学	1
京都外国語大学	2
京都学園大学	3
京都産業大学	3
京都女子大学	1
京都精華大学	3
京都大学	3
京都府立大学	1
京都文教大学	3
同志社大学	4
同志社女子大学	1
立命館大学	1
龍谷大学	2
合計	28

大学コンソーシアム京都非加盟大学

大学名	人数
追手門学院大学	1
大阪観光大学	1
大阪市立大学	1
大阪大学	2
関西学院大学	1
神戸大学	2
神戸学院大学	3
神戸松蔭女子学院大学	1
神戸山手大学	1
神戸女子大学	2
滋賀短期大学	1
滋賀文教短期大学	1
奈良学大学	1
姫路大学	2
兵庫医療大学	1
湊川短期大学	1
武庫川女子大学	3
桃山学院大学	3
和歌山大学	2
合計	30

1-2 区分

No	選択肢	人数	%
1	教員	11	19.0
2	職員	47	81.0
3	無回答	0	0.0
合計		58	100.0



2. 今回の講座をどこで（何で）知りましたか？（複数回答可）

No	選択肢	人数
1	大学コンソーシアム京都のホームページ	9
2	加盟校窓口担当者からの案内	14
2	KSSKメーリングリスト	28
3	上司・同僚からの紹介	16
4	知り合いからの紹介	1
5	自身が幹事	4
合計		72

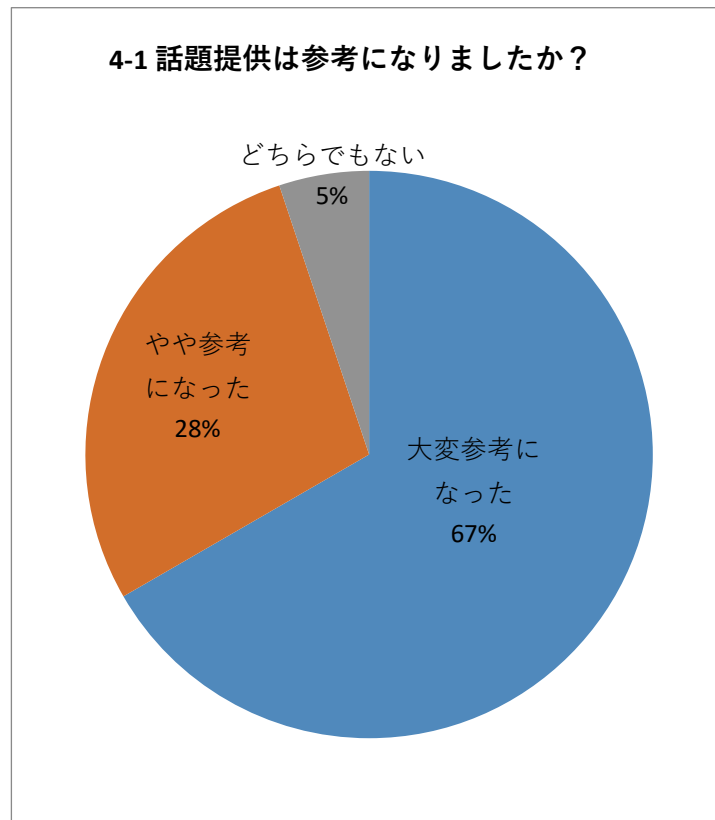
3. KSSKは何回目の参加でしたか？

No	選択肢	人数
1	初めて	17
2	2～4回	20
3	6回以上	18
4	無回答	3
合計		58

4. 話題提供について

4-1 話題提供は参考になりましたか？

No	選択肢	人数	%
1	大変参考になった	26	66.7
2	やや参考になった	11	28.2
3	どちらでもない	2	5.1
4	あまり参考にならなかった	0	0.0
5	まったく参考にならなかった	0	0.0
6	無回答	0	0.0
合計		39	100.0



4-2 (1) の回答を選択された理由をご記入ください。（記述内容一部抜粋）

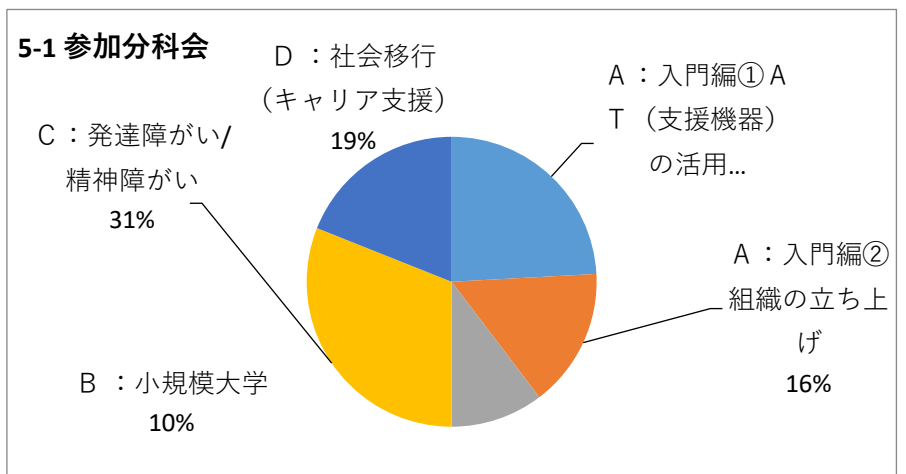
No	回答内容	理由
1	大変参考になった	他大学の障がい学生支援の体制づくりや運営の工夫等を知ることができたので。
2	大変参考になった	本学も組織の立ち上げに苦慮している段階であり、他大学の組織立ち上げまでの苦労等、現場レベルの視点でお話を伺うことができ、とてもわかりやすかった。また、私立・公立という違いはあっても、どこの大学も同じ悩みや課題を抱えていることがよくわかり、ほっと安心できる場でもありました。
3	大変参考になった	他大学の支援体制の実情を知ることができたから。本学の状況を比較して、本学の取り組みを振り返ることができた気がします。
4	大変参考になった	支援体制や手続きについて新たな視点を見出すことができました。PDCAの大切を認識しました。
5	大変参考になった	各大学の体制の様子や、現在の課題など、どの大学にも頷ける内容でよく理解できました。
6	大変参考になった	他大学の状況を本学と比べながら聞くことができ、共通の課題を確認できた。
7	大変参考になった	次系的な立ち位置が違う大学のお話なのですが、その中でも参考になる点、気づきがありました。すでに制度が確立している大学であっても、初心に帰る、あるいは新たな気づきを得られるよい時間でした。
8	大変参考になった	障害者支援について、これから体制作りを進めていく上で大変参考になった。
9	大変参考になった	話題提供して下さった各大学の障がい学生支援部門の成り立ちや構成、連携のための工夫などを知ることができて参考になったので。
10	大変参考になった	苦労されている点や工夫されている点、各大学固有の組織形態などをうかがうことができたから。
11	大変参考になった	障がい学生支援部門を立ち上げたばかりのため、様々な情報が得られた
12	大変参考になった	他大学の現状をきいて、本学に必要なと思われる検討事項を考えることができたからです。
13	大変参考になった	大学による違いがあることが分かったので
14	大変参考になった	他大学の皆様との情報交換
15	大変参考になった	学生支援体制の見直しを検討中。2大学の学内調整の流れ、支援担当の配置、研修などすぐに取り入れたいことが多く、大変参考になった。☑ 進行もスムーズで、もっと時間をかけてお話しをうかがいたいくらいだった。

16	大変参考になった	コーディネーターの動き、ランチアワー、オープンルームなどの居場所支援、京都府の事業（インターンシップ）、月1回発達障害特別相談などが参考になりました。
17	やや参考になった	昨年度支援室を立ち上げられた京都外国語大学の支援体制や実務の流れが分かり、参考になった点
18	大変参考になった	他大学の支援の状況をお聞きすることで、自学の支援を見つめ直すことができました。
19	やや参考になった	限られた人材の中で、いかに学部や教員を巻き込んでいくかというところが参考になった。
20	大変参考になった	大阪市立大学さんの取り組みを聞いてよかったです。障がい学生担当を置くなど、本学でも参考にさせていただきたい取り組みがありました。
21	大変参考になった	単科大学（後、2科）や公立大学さんの背景や事情を知れたから
22	やや参考になった	大阪市立大学、京都外国語大学の障害学生支援の体制を知ることができたから。
23	大変参考になった	どこの大学も事情こそ違い、学生のために一生懸命試行錯誤しておられることがよくわかり、まず何から取り掛かれ ばいいのか具体的な方策が見えてきました。
24	やや参考になった	新たに障がい者支援の組織を展開している大学での実際の実施内容や課題等に触れ、今後大学で体制を構築する大き なヒントをいただけたように思います。短い時間だったためもう少しお話をお伺いしたかったことと、とても参考に したい議題だったからこそ、レジュメ等あるとなお有意義な時間となったと思いました。
25	大変参考になった	実際に機器に触れられたことで、出来ることの広がりや使える場面を実感できた為。
26	やや参考になった	大規模校での例であり、小規模校ではそのまま取り入れられないが、基本は同様であるべきであるとする。
27	大変参考になった	コーディネーターの重要性について再確認できたため。
28	やや参考になった	他大学の支援部門の立ち上げの経緯について具体的な話を聴けたため。
29	どちらでもない	参加できませんでした
30	やや参考になった	他大学の体制整備の話と比較しながら聞くことは初めてだったため
31	やや参考になった	他大学の障害者支援の状況を知る良い機会になり、どの様な形の部署が良いのか考えるきっかけになったから。

5. 分科会について

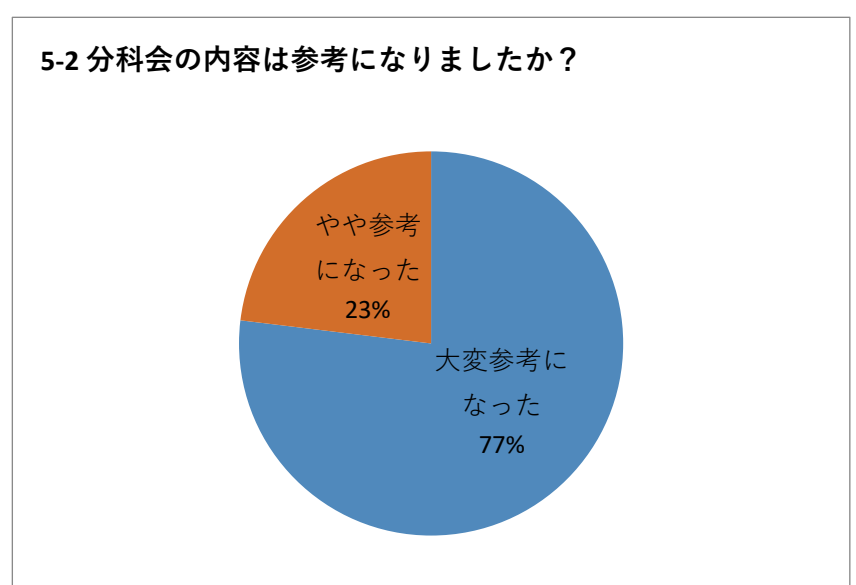
5-1 参加分科会（※アンケートではなく受付名簿より算出）

No	選択肢	人数	%
1	A：入門編①AT（支援機器）の活用	14	24.1
2	A：入門編②組織の立ち上げ	9	15.5
3	B：小規模大学	6	10.3
4	C：発達障がい/精神障がい	18	31.0
5	D：社会移行（キャリア支援）	11	19.0
	合計	58	100.0



5-2 分科会の内容は参考になりましたか？

No	選択肢	人数	%
1	大変参考になった	30	76.9
2	やや参考になった	9	23.1
3	どちらでもない	0	0.0
4	あまり参考にならなかった	0	0.0
5	まったく参考にならなかった	0	0.0
6	無回答	0	0.0
	合計	39	100.0



5-3 (2) の回答を選択された理由をご記入ください。

◆『A 入門編①AT (支援機器) の活用』 (記述内容一部抜粋)

No	回答	記述
1	大変参考になった	話題提供させていただきましたが、皆さんとの意見交換、大変参考になりました。
2	やや参考になった	この分科会では、支援機器を実際に使用することができるものだと思っていました。そのため、やや残念な気持ちがあったので、こちらの評価にしました。☒だ、支援機器を導入することのメリットだけでなく、デメリット (ユーザーの心理面) について、実体験を交えてお話ししてくださり、新たな気づきを得ることができました。
3	大変参考になった	「支援機器」の考え方を、整理することができたため。支援機器がオールマイティであるわけではないことが、よく分かりました。
4	やや参考になった	AT(支援機器) は、単にAT装置のことだけではなく、ATサービスとセットで活用することが重要であることが分かりました。これまで、支援機器のことばかりに目がいきがちで、AT利用者 (学生) の心理にまで考えが及んでいませんでしたが、綿密な対話や配慮の大切さが分かりました。
5	大変参考になった	各大学において、環境や事情は異なっても業務を進めていく上での悩みは共通しているところがあるとわかり、安心できました。ざっくばらんに話し合える雰囲気でも進めていただけて、よかったです。
6	大変参考になった	障がい学生と支援室と一緒に学生のニーズを探しつつ、学生自らが調べて学ぶ機会を与えることの重要性を改めて認識することができたからです。
7	大変参考になった	AT機器の進化はめざましく取り入れたいと思うが、本人にとって必要な支援を見極めたうえで活用することが大切という当たり前のことを再確認できた。
8	大変参考になった	ATは一つの手段であり、建設的対話を繰り返す中で、いかに情報保障を行っていくか再考させられた。
9	大変参考になった	支援を実施するには障がい学生個々に対応していく必要があり、具体例での課題について考えるのは有意義であった。
10	大変参考になった	A T 支援機器と学生のマッチングの流れについて学ぶことができたため。
11	大変参考になった	障がい当事者からみたATや大学への移行に関する障がい者心理が聞けたため

◆『A 入門編②組織の立ち上げ』 (記述内容一部抜粋)

No	回答	記述
1	大変参考になった	これから立ち上げようとされている大学の方々が多く、思いや取り組みなど共有できることがたくさんありました。
2	大変参考になった	話題提供をいただいた京都外国語大学さんに参加いただいたから
3	やや参考になった	話題が豊富であったがゆえに個別の掘り下げの時間がなかったため。

◆『B 小規模大学』 (記述内容一部抜粋)

No	回答	記述
1	大変参考になった	参加校の規模は小規模とはいえ様々であったが、どの大学も抱えている問題の根本は同じであり、それに対する対応策や今後の検討課題等、情報交換・共有することができた。また、支援に対するネットワークを広げることができた。
2	大変参考になった	参加者も少人数だったため、忌憚のない意見交換ができた。☒規模大学だからこそ、学生の顔が見える関係の良さと、限られた予算の中で取り組まなければならない困難さも感じた。☒情報交換も活発にでき、得られた情報が大変多かった。☒他大学と意見交換することで、学内に居るだけでは見えなかったことに気づき、あらためて本学の支援体制を見直したいと思った。☒加できてとてもよかった。
3	やや参考になった	小規模大学においては他業務との兼務の体制をしいている大学も多く、また受入れ実績が少なくノウハウの蓄積がないケースでの対応など、学べた点。
4	やや参考になった	もう少し参加人数が多いほうが、事例をたくさん聞けたのではないかと思います。

◆『C 発達障がい/精神障がい』（記述内容一部抜粋）

No	回答	記述
1	大変参考になった	「どこも障がい学生への対応について、抱えている苦勞は似たようなものだなあ」と実感したので。また、今回は初めての参加で、なおかつ事務職員や専門職（主に社会福祉、心理系）のみなさんが多いなかに、一教員の立場で参加しました。教員側が授業方法やカリキュラム運営面など、障がい学生への対応面で考えておかねばならないことをあらためて実感しました。
2	大変参考になった	オンライン形式に初めて参加しました。ゲスト、ファシリテーターも教員、コーディネーターのご経験が豊富な手
3	大変参考になった	先達様の取り組みを参考にでき、理解が深まりました。風土が異なる中で取り組まれているのが、現場の事例をいっしょ
4	大変参考になった	聞かせて頂き大変参考になりました
4	大変参考になった	自分の大学にいかせそうな取組があったので
5	大変参考になった	他大学の共有できる細かい悩み・課題や支援のヒントをもらえたから
6	大変参考になった	大学での取組、自分たちが有意義な時間でした。大学の合理的配慮が社会ではまだ追いついていないこともあるため、
7	大変参考になった	大学でうまくいって、社会でつまづくケースが多いというのは、支援者としてのマタニティを考えるヒントになりました。他大学での障害学生支援の取り組みを知ることができ、また同じような課題を感じておられる事を知る事が出来たから。
8	大変参考になった	大学での取り組みやシステムがめづ、遅れているが遅れているからではなく、他大学のシステムが理解できたので、本学で足りないことを整理することができました。
9	大変参考になった	ゲスト講師やファシリテーターの方を中心に、他大学と情報共有等できとても有意義な時間となりました。大学同士で同様の課題を抱えていたり、その対応の工夫等を教えていただけたりと、とても参考になりました。ありがとうございました。
10	やや参考になった	実際の他大学の取組、本学で行うアイデアをしながら聴かせていただきました。同じようなことに悩まれている方からヒントを得ました。

◆『D 社会移行（キャリア支援）』（記述内容一部抜粋）

No	回答	記述
1	大変参考になった	リアルな話題で、多くの気づきが得られました。ありがとうございました。もっと深いところまで話をしたかったので、次回もぜひ同じテーマ設定をお願いします。というより、もっと大きな形で議論してよいように思います。村田先生はファシリテーションありがとうございました。皆様もマイクでのご支援ありがとうございました。
2	大変参考になった	普段直接キャリア支援には携わっていないが、他大学さんの事例や外部・地域との連携のお話をうかがうことができたから。
3	やや参考になった	私はキャリア支援部門に所属しているため、障がい学生対応部門の方がキャリア支援をどう見ているのか知ることができた。率直な不満なども聞くことができたので、今後の連携において参考とさせていただきます。
4	やや参考になった	色々な情報交換ができました
5	大変参考になった	就労移行支援に係る外部機関との連携の重要性等を再認識できた
6	大変参考になった	他大学の取り組みや意見から本学の課題や解決方法がみえたから
7	やや参考になった	他大学の取り組みや、他機関との連携の方法を学び、学生へのアプローチの仕方の参考になったから。

6. 懇談会全体について

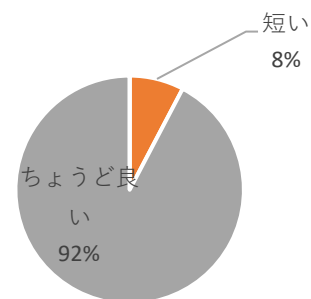
6-1 時間配分

No	選択肢	人数	%
1	長い	0	0.0
2	短い	3	7.7
3	ちょうど良い	36	92.3
4	その他	0	0.0
合計		39	100.0

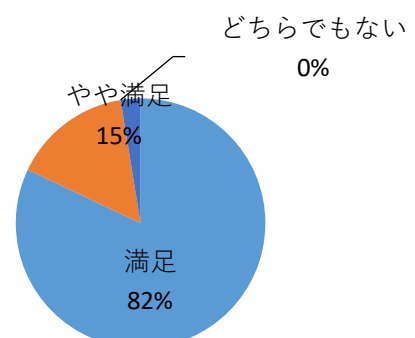
6-2 満足度

No	選択肢	人数	%
1	満足	32	82.1
2	やや満足	6	15.4
3	どちらでもない	0	0.0
4	やや不満	0	0.0
5	不満	1	2.6
合計		39	100.0

5-1 時間配分



5-2 満足度



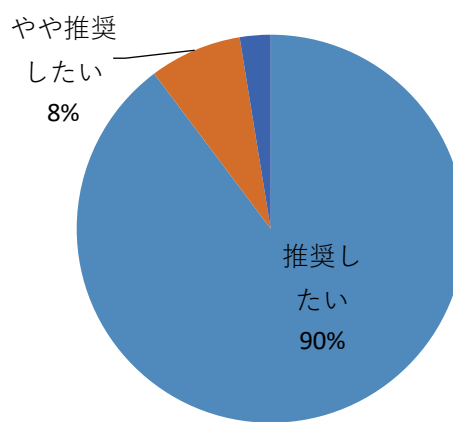
6-3 上記6-2の回答を選択された理由をご記入ください。（記述内容一部抜粋）

No	回答	記述
1	満足	はじめて参加しましたが、とてもいい雰囲気でした。もっと教員も参加したらいいのに・・・とも思いました。
2	やや満足	いつも参加させていただいている中で、KSSKの魅力は、気軽にいろんな話ができる場であると感じています。そのため、今回の分科会ではお話を伺う機会が多く、実際には話す時間が短いと感じていました。今後の分科会の進め方等、率直な意見交換ができる場をもう少し提供いただきたいと思います。
3	満足	他大学の方とつながりができたため。
4	満足	毎回、あらたな気づきがあります。
5	満足	話題提供はコンパクトにまとめられている中で、十分にお聞きすることができました。分科会の時間もたっぷりとってくださっていますので、しっかり話すことができ、かつ、あっという間に感じるほど内容は充実していました。
6	満足	他大学の現場の声や課題を聞くことができ、大変参考になります。支援機器についても、いろいろと参考になりました。
7	満足	他の部門（たとえばキャリアセンター、企業関係者）にも来てほしかったと思うくらいの情報交換であったので（分科会D）
8	満足	話題提供から情報交換会まで、全体を通して大変有意義であり参考になることばかりであった。他大学の担当者と直接話をする中で、様々な気づきを得ることができた。
9	満足	障がい学生支援に取り組む様々な職種・立場の方が気兼ねなく話し合える雰囲気がよかったです。また各々の大学での取り組みをお聞きすることができてとても参考になり、刺激を受けました。
10	満足	懇談会前に支援機器のライブラリも拝見し、1日で多くの情報に触れることができたから。情報交換会では分科会でお話しできなかった方や、もう少しお話しをうかがいたかった方など様々な方と関わる機会をいただいたから。
11	満足	配慮の必要な学生の支援へ直接携わっている方が多く、現場での悩みや課題を共有できたため。
12	やや満足	分科会のペアワークのテーマ内容が少し想像しづらかったので、ワークがあまり捗らなかった印象を受けました。
13	満足	情報も得られ、今後の参考になったことと交流の機会がもてたこと。
14	満足	時期に合わせたプログラム構成がよいと思います。
15	満足	専門的な立場の意見も伺える上に、同じ担当者としての立場の意見も直接きかせていただけた。四 方専門家ばかり、偉い先生ばかりでは、ややハードルが高く感じられ、こんなことを伺っていいのかと躊躇してしまう
16	やや満足	AT機器の活用というテーマが自分にとってタイムリーであった。
17	満足	情報共有の場として、有効に活用させていただいております。
18	満足	様々な参加者と対話できました。
19	やや満足	横のつながりができることが心強かったです。
20	やや満足	分科会では話きれなかったことや、他の分科会参加者とも情報交換ができました。
21	満足	話題提供と分科会の時間配分と内容のバランスがよかったから
22	満足	支援機器を含め、情報交換会まで、たくさんの人とお話することができ大変勉強になりました。
23	満足	知りたい情報が満載であったこと、学生のことをサポートしようとして実践している方々との出会いがあったことです。学習と情報交換の場をもつこと、ネットワークがあることに感謝しております。
24	満足	聞きたかったお話も伺うことができ、半日ではもったいないくらいにとっても有意義な時間でした。もう少し時間をかけてゆっくりとお話を伺えると良いなと思いました。
25	満足	他大学と情報交換ができるため
26	満足	他大学さんの取り組みから、日常を振り返ったり、今後につながるヒントを得ることができたこと。同じ困りごとを共有できたことが有難かったです。
27	満足	内容は学内で活かすことができ、他校の情報も得られた。
28	満足	先進的な取り組みをされている大学含め他大学との情報交換の貴重な機会である。
29	満足	前半後半共に、支援の具体的な話を聴けたため。
30	満足	懇談会の位置づけはとても有意義だと改めて思いました
31	満足	かなりコアな領域の研修会のため、深い話になる（できる）ため

6-4 他者への推奨

	選択肢	人数	%
1	推奨したい	35	89.7
2	やや推奨したい	3	7.7
3	どちらでもない	0	0.0
4	あまり推奨したくない	0	0.0
5	推奨したくない	1	2.6
6	やや推奨したい	0	0.0
	合計	39	100.0

5-4 他者への推奨



7. 今後、懇談会で取り上げてほしいテーマ、内容等があればご記入ください。（記述内容一部抜粋）

No	内容
1	障がい学生支援を担当する事務職員や専門職（社会福祉、心理）の側からみて、各学部・大学院等で授業を担当する教員の側に「変わってほしい」と願うことってなんですか？ それを一度、伺ってみたいです。
2	病弱・虚弱の学生への対応（医療的ケア・定期通院が必要な学生）
3	配慮内容の決定の仕方について。誰が決定権を持っているか（組織上の問題）。決定に至るプロセスをどのように組み立てるか。
4	昨日の話題提供の際にも出ていましたが、FDやSDの工夫などをもっと知る機会があるとありがたいです。
5	大学院生の合理的配慮（研究論文作成にあたる配慮）、欠席等の扱い
6	支援学生（ノート・PCテイク等）のマネジメントやスキルアップについて
7	企業関係者と連携した、企業等における障がい者雇用（高等教育機関卒者に限定した）の事例、リアルな話題など。
8	外部機関（行政、医療機関、支援団体等）との連携について（内容、連携に至るまでの過程等）
9	精神障がい・発達障がいに関しては引き続き取り上げていただきたいです。また、外部の専門機関（特に医療機関）との連携の取り方も取り上げていただければありがたいです。
10	身体障がいと精神・発達障がいの重複学生の対応について、取り上げていただきたいです。
11	事例検討
12	AT機器と活用実践例、防災関連、高大連携、初等教育の現状など
13	就労移行支援 ※※※※※
14	入学時、在学時、就労移行支援時における各々の対応についての分科会があればと思います。
15	配慮依頼の配布の仕方などもう少し具体的なテーマのことを聞ける分科会があればと思いました。
16	就労移行支援事業所についての情報交換や提供をお願いできないでしょうか。社会移行を支援するにあたり、玉石混交のためにあまり好ましくないブラック先などを排除できないかと思います。
17	キャリア形成や施設関連
18	聴覚障害、肢体不自由などの障害種別に特化したもの。（配慮提供までの流れから配慮内容）
19	ケース報告といった形で共有することができればありがたいです（個人情報ですのでそのままと言うわけにはいきませんが）。
20	障がい学生支援についてさらにお話を伺いたいです。
21	カウンセラーと非専門家である専任事務職員の役割、コーディネーターについて等
22	学内各部署間（教学事務間・事務間）の連携におけるコーディネーターの役割と課題
23	障害ではないけれど、入院などの一時的な状況における配慮について
24	知的障害のある学生が高等教育で学ぶための支援方法について
25	グレーゾーンの学生に対する社会移行に向けたアプローチの仕方について。

8. 懇談会の改善点があればご記入ください。（記述内容一部抜粋）

No	内容
1	分科会では「講義型」「実践形式」「座談会形式」等、進め方について明記していただけると助かります。
2	特にありません。本当にいつもありがとうございます。
3	社会移行、就労移行をテーマにするのであれば、企業等、受け入れ側の視点を取りこむ方がモアベターで、可能な範囲で門戸開放した方が、いろんな深まりが見込めるように思います。
4	質疑応答の時間をもう少し取っていただくと大変ありがたいです。
5	分科会はテーブルを口の字にして、皆さんの顔が見えると良かったと感じました。
6	料理は中央にあった方が、その周りで話しやすいと感じました。
7	参考資料の工夫があると短い時間でもわかりやすいように思います。
8	分科会の時間がもう少しあるとよいように感じます。
9	名簿作成・配布をお願いいたします。

9. その他、懇談会へのご意見・要望等があればご記入ください。（記述内容一部抜粋）

No	内容
1	みなさん、今回はお世話になりました。
2	障害学生支援が各大学に広がっている中で、支援についての理解度や、各大学の状況も多様になってきていると推察します。そのような前提のもとで、KSSKのような研修会をオーガナイズしていくのは、とても大変だろうなと思いました（感想です）。ありがとうございました。
3	ロジャーマイク環境のご用意ありがとうございました。大会場、分科会ともに反映がすごく良かったのでありがたかったです。
4	特にございません。今後もぜひ機会があれば参加させて頂きたいと思います。誠にありがとうございました。
5	特にございません。ありがとうございました。
6	ご準備から当日の運営までお疲れ様でした。お世話になりましてありがとうございます。とても充実した時間を過ごすことができました。また次回、どうぞよろしくお願いいたします。
7	また、ペアワークや検討事例の分科会があれば参加したいです。
8	事務局や幹事の皆様には、いつもお世話になりありがとうございます。☑加しやすいよう、細やかなお心遣いをいただき感謝しております。☑後とも、よろしくお願いいたします。
9	今回懇談会に合わせて、支援機器体験会を企画していただいたのは参加もしやすく良かったと思います。
10	毎回、楽しみに参加させていただいております。ありがとうございます。
11	今回、初めて参加させていただきました。身近にこのような会があることに気づけなかった事を恥じます。アットホームな雰囲気の中、参加してよかったと思います。今後、課員にも参加させたいと思います。☑めまして、ご準備いただいた幹事校の先生方、事務局の皆様々に深く感謝申し上げます。
12	今回は話題提供をさせていただき、この一年の取り組みを振り返る機会ができ、本学の足りないところ、本学でやってきたことや特徴などが分かりました。ありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。
13	特にございません
14	今後とも何卒宜しく願い申し上げます
15	お世話役の皆様、発表者の皆様ありがとうございました。またぜひ参加させていただきたいと考えておりますので、その際はご指導のほどよろしくお願いいたします。
16	はじめの情報提供部分、やはり60分あると色々な話を聞きやすいと感じました。
17	いつもありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。